会社案内
2026

RICOH
imagine. change.

90th ANNIVERSARY

トップメッセージ

リコーは1936年の創業以来、90年にわたる事業活動を通じて、常に世の中の“はたらく”に寄り添ってきました。

AIなどの技術が大きく進化する中で、お客様の“はたらく”も変わり続けています。私たちは、“はたらく”の変革を進め、お客様の競争優位と差別化に貢献します。

リコーは使命と目指す姿に「“はたらく”に歓びを」を掲げています。働く歓びは、人ならではの創造力を発揮することで得られる、充足感や達成感、自己実現の実感であると私たちは考えています。

この実現に向けて、私たちはイノベーションを起こし続けることで、はたらく人の創造力の発揮を支え、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

代表取締役 社長執行役員・CEO
大山　晃

リコーウェイ

リコーウェイは、リコーグループの日々の判断や活動の基礎となる普遍的な理念です。

創業の精神

三愛精神　　創業者　市村 清

「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」

使命と目指す姿

“はたらく”に歓びを

“はたらく”に寄り添い変革を起こしつづけることで、人ならではの創造力の発揮を支え、持続可能な未来の社会をつくります。

価値観

CUSTOMER-CENTRIC
お客様の立場で考え、行動する

PASSION
何事も前向きに、情熱を持って取り組む

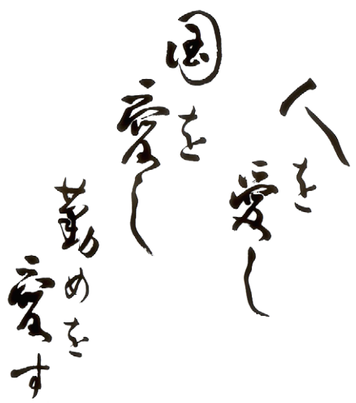
GEMBA
現場・現物・現実から学び改善する

INNOVATION
制約を設けず、柔軟に発想し、価値を生み出す

TEAMWORK
お互いを認め合い、すべての人と共創する

WINNING SPIRIT
失敗をおそれず、まずチャレンジし、成功を勝ち取る

ETHICS AND INTEGRITY
誠実に、正直に、責任を持って行動する



「三愛精神」は、1946年にリコーの創業者、市村清が提唱したもので、リコーでは創業の精神と位置づけています。これは、事業・仕事を通じて、自分、家族、顧客、関係者、社会のすべてを豊かにすることを目指した考えで、リコーグループの全社員が、経営や仕事を行ううえで原点となるものです。

“はたらく” に寄り添い続けるリコー

1936年 創業
感光紙の製造・販売

1950年代～ 事務機分野進出
1955年、国内初の卓上型ジアゾ湿式複写機「リコピー101」を発売し、事務機器分野に進出。事務作業の合理化に革命をもたらしました。

文書の複製を自動化

1970年代～ OAの提唱
1973年、世界初の事務用高速ファクシミリ「リファクス600S」を発売。1977年には、OA（オフィスオートメーション）を提唱。
「機械にできることは機械に任せ、人はより創造的な仕事をする」ことを目指す考えは現在にも通じています。

遠隔地に文書を高速伝送

1990年代～ デジタル化・グローバル化
アナログ複写機からデジタル複合機へ移行。ネットワーク化・カラー化を推進しました。

2000年代～ サービス事業の拡大
ITサービスや各種デバイスの提供により、ワークスタイル変革を支援しました。

カラーでの複写・印刷を可能に

ハイブリッドワークを支援

2020年代～ デジタルサービスの会社へ
2020年、リコーは はたらく人の生み出す力（創造力）を支える「デジタルサービスの会社」へと変革することを宣言。
業界随一の販売・サポート体制でお客様に寄り添いながら、自社およびパートナー企業のデバイスやアプリケーション・サービスを組み合わせ、お客様の“はたらく”を変革します。

現場の業務をデジタル化

“はたらく”に歓びを

世の中の働き方の変化

- 「手書き」から「ワードプロセッサー」へ
- 業務用ファクシミリの普及
- PCが一人一台へ
- カラーコンテンツが増加
- インターネット利用が拡大
- 通信高速化・大容量化
- ペーパーレス化が進展
- リモートワークの普及
- DXの加速
- AI活用が拡大

数字で見るリコー

連結売上高

2兆6,083億円
（2025年度）

グループ従業員数

75,635名
（2026年3月31日現在）

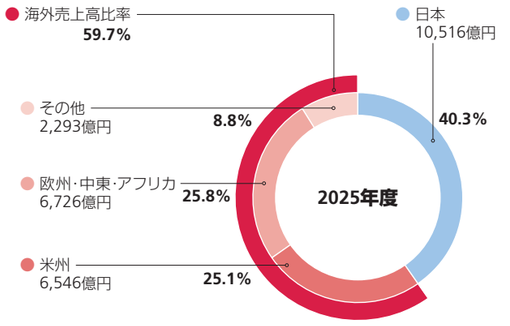
事業エリア（国と地域）

約200
（2026年3月31日現在）

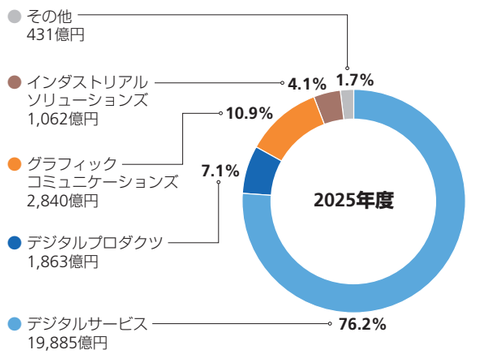
顧客企業数

グローバル
約140万社
（2025年度）

地域別売上高



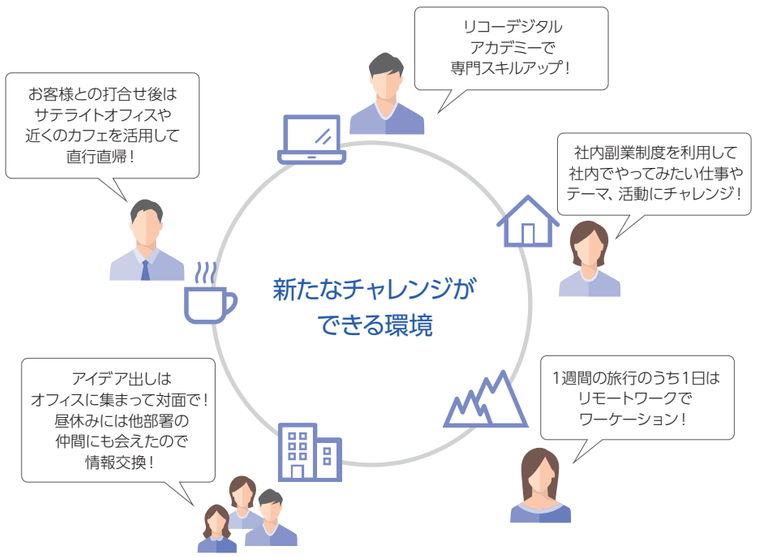
事業別売上高



※セグメント間売上除く

自律型人材を支える制度やプログラム

リコーは「“はたらく”に歓びを」の実現に向けて、社員一人ひとりが主役となる、自律的なスキルアップと成長を支援しています。デジタルサービスの創出に貢献する人材を育成する「リコーデジタルアカデミー」や、やってみたい仕事に取り組む社内副業、新規事業創出に挑戦するアクセラレータプログラムも広く活用されています。また、個人や組織の単位でリモート勤務と出社を組み合わせるハイブリッドワークなど柔軟な働き方も促進し、新たなチャレンジができる環境づくりを進めています。



リモートワーク主体勤務率

69.9%

※2026年3月時点
※日常的に、1ヶ月のうち半数超リモートワークしている社員の割合

育休取得率

女性／100.0%
男性／93.3%

※2025年度利用実績
※リコー単体

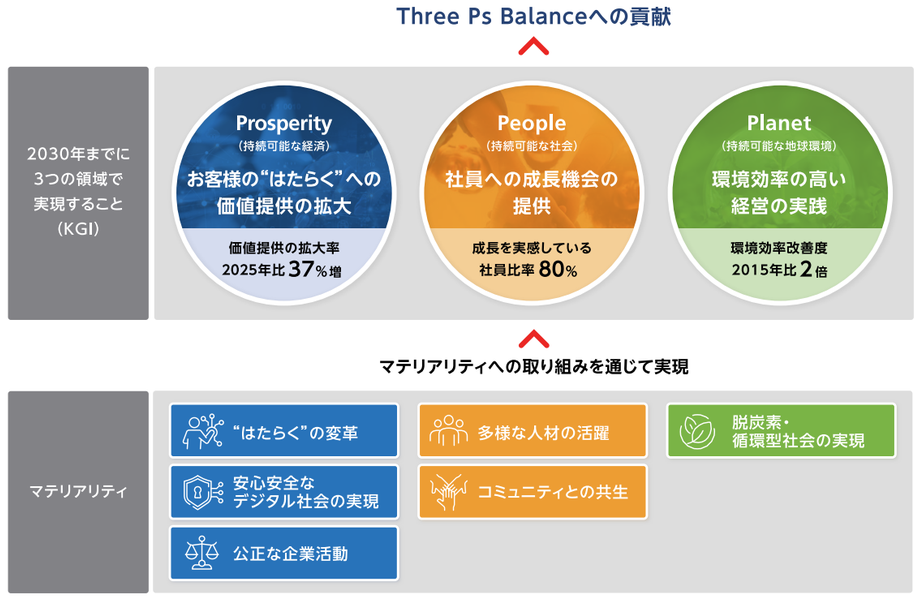
持続可能な社会を、ビジネスの力で。

リコーグループは、創業の精神（三愛精神）に基づき、目指すべき持続可能な社会の姿を、経済（Prosperity）、社会（People）、地球環境（Planet）の3つのPのバランスが保たれている社会「Three Ps Balance」として表し、その実現に向け活動を推進しています。

1998年には世界に先駆け「環境経営」を提唱し、その後約30年にわたり「環境保全と利益創出の同時実現」に取り組んできました。

こうした取り組みを土台に、近年では「ESGと事業成長の同軸化」を方針に掲げ、ESGを非財務ではなく、3～10年後の財務につながる「将来財務」と位置づけ、ESG/SDGsの経営戦略、経営システムへの統合を進めています。

2026年度から始まった中期経営戦略’26では、「Three Ps Balance」への貢献において、2030年までに3Pの各領域で実現することをKGIとして設定しました。また、企業価値向上と「Three Ps Balance」への貢献に向けて、社会・お客様要請や中期経営戦略を踏まえて、6つのマテリアリティ（重要社会課題）を特定しています。



事例

脱炭素・循環型社会の実現

使用済みの自社複合機・トナーカートリッジを回収し、再使用・再生製品として販売。製品として再生できないものは再生部品または再生材料としても活用しています。1996年から取り組み、事業を成長させてきました。

リコーの強み

- 新品設計時から輸送・分解・清掃等に配慮した設計を行うことで、回収・分解・再生における複数工程で効率性を向上
- 回収物流網や機器使用履歴データの活用により回収機器輸送と再生パターンごとの選別を効率化
- グローバルで自社再生拠点を配置し、欧州・米州・アジアパシフィック・日本の4つの地域に品質保証付き再生モデルを提供

社会課題解決への貢献

- 再生事業により年間約6,000tの新規資源投入量を削減*

*2025年度実績

同軸化

事業成長

- 長年の取り組みの蓄積により年間約5万台、約320億円の事業に成長*
- 最新のセキュリティやユーザビリティ向上の対応、環境訴求で再生事業の価値を拡大

*2025年度実績

事業概要

リコーグループは、働きがいと経済成長が両立する持続可能な社会を目指し、お客様の“はたらく”に寄り添った製品・サービスを提供しています。

ワークプレイスサービス

事業内容 全世界に広がる顧客基盤をベースに、業務最適化とAI活用により生産性向上と価値創出を実現するプロセスオートメーション、場所にとらわれない協働環境を提供するワークプレイスサービス、クラウド基盤とセキュリティを備えた安全・効率的なデータ運用環境を実現するITサービスを提供

スクラムパッケージ
複合機や360度カメラなど独自のデバイスやソフトウェア、クラウドサービスなどを組み合わせた、中小企業向け業種業務パッケージによるDX支援

RICOH Spaces
オフィスの会議室、デスク、オープンエリアを含むスペースの予約ができるクラウド・アプリケーション

デジタルプロダクツ

事業内容 世界トップクラスのシェアを有するオフィス向け複合機をはじめとした画像機器や消耗品の販売・保守サービスに加え、プリンターやスキャナーなど、デジタルコミュニケーションを支えるエッジデバイスの開発・生産（OEM含む）を通じた製品を提供

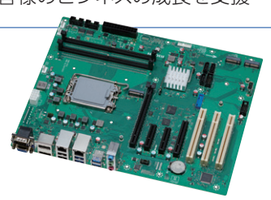
A3カラー複合機
業界最高水準の50%以上のプラスチック回収材を使用し、環境負荷低減に貢献

RICOH IM C6010/C5510/C4510/
C3510/C3010/C2510/C2010

再生プラスチック使用率約50%*
*重量比で製品本体の総樹脂量の約50%に再生プラスチック素材を使用（当社調べ）

「省エネ大賞」において、製品・ビジネスモデル部門 省エネルギーセンター会長賞を受賞

組込みコンピューティング
国内設計・生産による、高い信頼性と品質を備えた製品ラインアップでお客様のビジネスの成長を支援



グラフィックコミュニケーションズ

事業内容 **商用印刷事業**
印刷業のお客様向けにデジタル印刷関連製品、印刷現場におけるワークフロー、マーケティング活動のサポートなどのソリューション・サービスを提供

産業印刷事業
サインディスプレイ・服飾品生地・建材・家具など、多種多様な印刷を可能とする産業用インクジェットヘッド・インクジェット用インク・プリンターなどを製造・販売

商用印刷
オフセット印刷からデジタル印刷への転換により印刷業務のDXを進め、カーボンフットプリントも削減

産業用インクジェットヘッド
高品質で信頼性の高いヘッドを幅広いラインアップで提供

インダストリアルソリューションズ

事業内容 **サーマル事業**
食品用のPOSラベル・バーコードラベル・配送ラベルなどに利用されているサーマルペーパー・衣料品の値札・ブランドタグ・チケットなどに使われる熱転写リボンを製造・販売

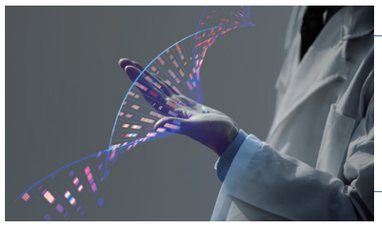
産業ソリューション事業
製造業向けの自動化設備や検査装置、自動車業界を中心とした精密部品の製造・販売

ラベルレスサーマル
食品等の包装材へサプライレスで可変印字することで、資材削減・生産性向上に貢献

車両塗装ラインビルダー
リコー独自のインクジェット技術を活用し、車両塗装工程の変革に貢献

新規事業

事業内容 Smart Vision・バイオメディカルなどの事業を通じて社会課題解決と事業創出の早期実現を目指す



創薬支援
iPS細胞の高速分化誘導技術やmRNAの設計・製造技術をコアとした創薬支援

RICOH360
あらゆる空間を360度デジタル化し、ビジネスを効率化

社会に対するコミットメント

ステートメントやガイドラインへの賛同・参画などを通して、持続可能な社会の実現に向け積極的に取り組んでいます。

国連グローバル・コンパクト（UNGC）
2002年4月 国連グローバル・コンパクトに
日本企業として2番目に署名

RE100
2017年4月 国際的なイニシアチブである
「RE100」に日本企業として初めて参加

ESGインデックス組み入れ・評価

リコーグループは、ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組みに対し、社外から評価され、
国内外のESGインデックスの組み入れ銘柄として採用されています。
2025年7月、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用する6つのESG指数（国内株式）すべてに選定されました。

Dow Jones Best-in-Class (DJ BIC) Asia Pacific Index

FTSE4Good

FTSE JPX Blossom Japan Index

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI ESG RATINGS AAA

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数（WIN）

Morningstar 日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

各指標についての詳細、免責事項については、リコー公式ウェブサイト「コミットメントと外部評価」をご覧ください。
https://jp.ricoh.com/about/integrated-report/data/commitment

表彰・認定

国内外で数々の評価・表彰をいただいています。

リコーについてはこちら jp.ricoh.com/about/

採用ページはこちら jp.ricoh.com/jobs/

RICOH imagine. change.
株式会社リコー
〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6
Phone：03-3777-8111（代表）

0109S-2607<37061001>55/P